

## 第9期 診療所を中心とした地域医療経営人材育成プログラム 授業計画

授業科目名	医療機関事例研究	担当者	松村眞吾	実施月	2025年2月～3月
-------	----------	-----	------	-----	------------

■講義目的

本講義は、診療所の経営において重要なトピックスとなる開業、集患、スタッフの養成といった問題を中心にし、ケース教材を使いながらその問題点を明らかにすることを目的としている。受講者は特定のテーマにしたがってグループ研究を行う。受講者は、サービス・マーケティング、地域医療経営を受講していることが望ましい。

■教科書<著者『タイトル』出版社、出版年>

独自テキストを使用します。

■各回の授業内容

第1回 1-2 講時 イントロダクション

[開催日：2月8日（土）]

診療所の置かれている現状を元にして経営上の問題点を検討します。患者さんにとって価値のある診療所を作っていくためには何が必要なのかを議論します。

第2回 3-4 講時 開業

[開催日：2月16日（日）]

開業までの準備から開業に至る問題を考えます。立地、資金調達、スタッフの募集など実践的な問題を扱いながら、どの様な方法があるのかを検討します。

ケース：大阪クレセントレディースクリニックの開業

第3回 5-6 講時 集患

[開催日：2月23日（日）]

集患は、経営の根幹をなす問題ですが、診療所は立地によって患者数がある程度決まります。ただし、診療所間の競争を勝ち抜くためには、何が必要なのかを考えます。HPの活用等についても考えます。

ケース：池岡クリニック

第4回 7-8 講時 患者満足

[開催日：3月2日（日）]

顧客を維持して高いリピート率を獲得するためには患者満足が重要であり、患者満足を高められるような施策について検討します。

ケース：池岡クリニック

第5回 9-10 講時 スタッフ管理

[開催日：3月9日（日）]

クリニックでのスタッフ管理の問題は、小規模事業所特有の問題でもあります。少人数、多職種のスタッフの管理は経営者にとって大きなストレスとなります。採用から養成までを考えます。

ケース：大阪クレセントレディースクリニックのスタッフ管理

第6回 11-12 講時 ICTの導入(デジタル化)

[開催日：3月16日（日）]

電子カルテ、情報共有システムなどICT（情報通信技術）の活用は連携や経営効率化に重要な意味を持っています。診療などの場が分散された在宅医療におけるシステム開発と活用を事例に、その意味と効果を考えます。またAIなど急速に変化する環境下、これからの方針性を考えていきます。

ケース：おひさま会のICT活用

第7回 13-14 講時 グループ研究の発表

[開催日：3月23日（日）]

本講義で学んだ知識を利用して、現実のクリニックで起こっている問題を検討します。

■授業方法

本講義は授業とケース毎の討論の組み合わせで行います。原理原則を踏まえつつ、デジタル関連のように変化するテーマに関しては、最新の情報、最近の事例も紹介しつつ、経営者としての高い意識と実践能力を身につける機会とします。

■参考文献<著者『タイトル』出版社、出版年>

■成績評価の基準と評価方法

毎回、事前レポートを提出いただきます。

講義内の発言やグループディスカッションでの貢献、講義への積極的な参加を加味し、総合的に評価します。

■準備学習等についての具体的な指示および他の科目との関連